

2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天童 淑巳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長 (氏名) 上島 正教 (TEL) 092-720-5460
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	431	△14.8	△93	—	△96	—	△98	—
2019年9月期第1四半期	505	△11.7	△83	—	△85	—	△102	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 △98百万円(—%) 2019年9月期第1四半期 △102百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	△14.58	—
2019年9月期第1四半期	△14.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	2,451	937	38.0
2019年9月期	2,580	1,037	40.0

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 931百万円 2019年9月期 1,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	950	1.1	△82	—	△86	—	△86	—	△12.64
通期	2,300	17.5	104	—	96	—	62	—	9.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社HACCPジャパン、除外 1社(社名) 株式会社サイエンスボーテ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期1Q	6,973,470株	2019年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	191,670株	2019年9月期	191,590株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期1Q	6,781,836株	2019年9月期1Q	6,866,727株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共工事の増加や米中貿易摩擦の緊張緩和に向けた動きなど好材料がある一方で、世界経済の減速や米強硬姿勢による中東での緊張感の高まりなど先行きの不確実性が高まり、企業の投資姿勢が慎重になっております。更に昨年10月1日の消費税率引き上げによる消費意欲の低迷など、国内景気の先行きには不透明感が強まっております。このような状況のもと、当社グループにおきましては、業績回復に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。しかしながら、当初見込んでいた新規顧客の獲得が出来なかったこと、インバウンド需要の見込みが低下したことや消費税増税前の駆け込み需要の影響による顧客の買い控え等により、予想を下回る業績となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高431,049千円（前年同四半期比14.8%減）となり、営業損失93,811千円（前年同四半期は営業損失83,426千円）、経常損失96,740千円（前年同四半期は経常損失85,866千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失98,894千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失102,961千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(コミュニケーション・セールス事業)

コミュニケーション・セールス事業におきましては、当期より株式会社フェヴリナと株式会社サイエンスボーテを合併し、新たな顧客層の獲得と育成、WEBでの新規顧客獲得と育成、新規販路開拓において営業効率の向上を目指しておりました。しかしながら、消費税増税前の駆け込み需要の影響による顧客の買い控え等の影響もあり、予想を下回る結果となりました。これにより、売上高268,162千円（前年同四半期比23.9%減）、セグメント損失83,356千円（前年同四半期はセグメント損失98,361千円）となりました。なお、通信販売以外の新規販売チャネルの開拓においては、国内市場・海外市場において量販店舗への卸しや期間限定店舗への出店も順調に進んでおり、さらに一層の営業効率の効率を図ってまいります。

(化粧品卸事業)

化粧品卸事業におきましては、前期よりECと海外展開への対応を強化しておりました。その結果、ECにおいてはナチュラルアクアジェルとスペシャルパウダーソープが売上を伸ばし、前年対比・目標対比ともクリアすることができました。海外展開においても発注の時期は若干遅れてはおりますが、順調に進んでおります。しかしながら、国内卸におきましては、ナチュラルアクアジェルの売上は継続的に好調ではあるものの、店舗の棚替えによる返品やその他商品の売上の低迷により、売上高146,976千円（前年同四半期比4.9%減）、セグメント利益4,374千円（前年同四半期比85.0%減）となりました。今後は、さらに認知度を高めるために広告宣伝費の投下やPRの強化、海外への積極的展開を強化してまいります。

(衛生コンサルティング事業)

衛生コンサルティング事業におきましては、2020年6月の食品衛生法改正に向けて、セミナー開催や展示会への積極的な出展、「福岡市実証実験フルサポート事業」に採択される等、現在は認知度を高める活動に注力しております。積極的な広報活動により多くの需要はあるものの、社員不足による機会損失、認知度向上のための先行投資もあり、売上高17,042千円、セグメント損失14,499千円となりました。今後は、すでに2月以降で2名の採用が決まっており、1月より久留米リサーチパーク内に事務所を構え、販売スキーム上必要な検体チェックを随時行える体制が整えることができたことにより、さらに積極的な営業活動を強化し受注増に繋げてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は2,451,150千円(前連結会計年度末2,580,139千円)、その内訳は流動資産1,978,231千円、固定資産472,918千円となり、前連結会計年度末に比べ128,988千円減少いたしました。これは主に、売掛金の減少39,442千円、商品及び製品の減少9,458千円、顧客関連資産の減少8,576千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は1,514,081千円(前連結会計年度末1,542,787千円)、その内訳は流動負債1,048,001千円、固定負債466,079千円となり、前連結会計年度末に比べ28,706千円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少10,000千円、未払法人税等の減少5,307千円、株主優待引当金の減少1,802千円、長期借入金の減少25,737千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は937,069千円(前連結会計年度末1,037,351千円)となり、100,282千円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失98,894千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,451,925	1,475,397
売掛金	154,506	115,063
商品及び製品	327,711	318,253
原材料及び貯蔵品	25,909	34,079
その他	136,150	35,452
貸倒引当金	△7	△15
流動資産合計	2,096,196	1,978,231
固定資産		
有形固定資産	23,360	33,713
無形固定資産		
のれん	81,014	78,699
顧客関連資産	300,192	291,615
その他	23,238	21,575
無形固定資産合計	404,444	391,890
投資その他の資産	56,137	47,314
固定資産合計	483,942	472,918
資産合計	2,580,139	2,451,150
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,340	54,305
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	332,948	322,948
未払法人税等	9,667	4,359
賞与引当金	6,500	12,405
返品調整引当金	2,346	2,475
ポイント引当金	4,770	5,942
株主優待引当金	48,630	46,828
その他	140,027	148,736
流動負債合計	1,052,231	1,048,001
固定負債		
長期借入金	394,914	369,177
繰延税金負債	76,699	78,318
資産除去債務	17,250	17,262
その他	1,691	1,321
固定負債合計	490,556	466,079
負債合計	1,542,787	1,514,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	349,152	349,152
利益剰余金	△139,855	△240,015
自己株式	△60,244	△60,283
株主資本合計	1,031,840	931,641
新株予約権	5,511	5,427
純資産合計	1,037,351	937,069
負債純資産合計	2,580,139	2,451,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	505,746	431,049
売上原価	116,370	115,633
売上総利益	389,376	315,416
返品調整引当金戻入額	24,063	2,346
返品調整引当金繰入額	3,301	2,475
差引売上総利益	410,138	315,287
販売費及び一般管理費	493,564	409,098
営業損失(△)	△83,426	△93,811
営業外収益		
受取利息	5	0
受取賠償金	847	—
その他	333	434
営業外収益合計	1,186	434
営業外費用		
支払利息	3,570	3,134
その他	55	228
営業外費用合計	3,626	3,363
経常損失(△)	△85,866	△96,740
特別利益		
新株予約権戻入益	—	83
特別利益合計	—	83
特別損失		
減損損失	1,555	—
特別損失合計	1,555	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,421	△96,656
法人税、住民税及び事業税	666	719
法人税等調整額	14,874	1,618
法人税等合計	15,540	2,337
四半期純損失(△)	△102,961	△98,994
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△100
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△102,961	△98,894

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△102,961	△98,994
四半期包括利益	△102,961	△98,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,961	△98,894
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セ ールズ事業	化粧品 卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	352,296	153,449	505,746	—	505,746
セグメント間の内部売上高又は振替高	144	1,150	1,294	△1,294	—
計	352,440	154,600	507,041	△1,294	505,746
セグメント利益又は損失(△)	△98,361	29,253	△69,108	△14,317	△83,426

当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セ ールズ事業	化粧品 卸事業	衛生コンサル ティング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	267,030	146,976	17,042	431,049	—	431,049
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,132	—	—	1,132	△1,132	—
計	268,162	146,976	17,042	432,181	△1,132	431,049
セグメント利益又は損失(△)	△83,356	4,374	△14,499	△93,482	△328	△93,811

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	△69,108	△93,482
全社収益(注)1	52,500	80,160
全社費用(注)2	△67,542	△81,123
その他の調整額	724	635
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△83,426	△93,811

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料であります。
2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間に株式会社HACC Pジャパンを連結子会社としたことに伴い、「衛生コンサルティング事業」を報告セグメントに追加しております。